

松本正夫 まつもと まさお 哲學者、文學博士。明治四十三年七月十四日東京生  
れ（一九〇一）。昭和八年慶應義塾大學卒。同大教授。

著書『「存在の論理學」研究』（昭和十九年九月十五日岩波書店）、

『『シュンゲール戰後派』の研究』（合著・思想の科學研究會編、昭和二十六年六

月）二十日養徳社）、『世紀への展望—永遠哲學の周邊に立ちく』（昭

和二十六年十一月十一日岩波書店）、『人權の思想』（合著・葦原純

夫編、昭和二十七年二月二十日毎日新聞社「毎日文ライブラリー」、

『西洋中世思想の研究—石原謙先生獻呈論文集』（共編、昭和四十年

二月二十七日岩波書店）、『存在論の諸問題—スコラ哲學研究』（昭

和四十二年七月二十日岩波書店）等。